

昭和30年頃の立高

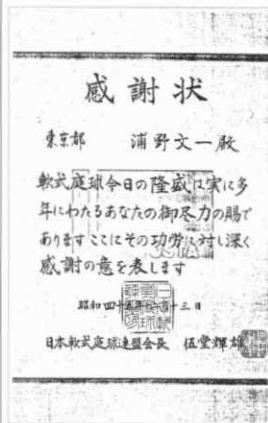
と一緒にテニスをやっていた。翌23年には中学生が引き上げたので2面作ることにした。当時は町にコートがなかったので、近くの先輩がコート見学や練習に来てくれてにぎやかでした。中には台湾の名選手が来て一緒に合宿もやりました。

中野……みんなでグラウンドを耕した？

髭野……そう。コートにするには平らにしなけれ  
ばならない。高1と中3の部員32名で土を篩うこ  
とにした。ところがローラーの皮は剥がれている  
上、引っ張る金具もない。苦勞して転がすとセメ



会報への寄稿文  
浦野先生、村瀬先生



浦野先生への感謝状

ントの跡がコートについてしまう。さらに大根畑  
なんかにしていたので砂利が浮いている。砂利が  
始末できないので、遂に古井戸に埋めてしまった。  
浦野先生は、元卓球部だったが、僕たちがテニス  
を始める頃から庭球部となり、高体連の副部長と  
して退職されるまで大変お世話になった。テニス  
コートを作るときにはひとつ下と我々の2学年の  
32名で苦勞して作った。

一番の思い出はあわれなローラーで苦戦してい  
る最中に「豊田にローラーが埋まっている」という  
情報が入った。早速3人でリヤカーに道具を乗せ、  
他7人は電車で行った。土に半分ほど埋もれてお  
り、掘り起こすのに苦勞した。途中、浅川土手の  
田んぼに落としそうになったが何とか高幡橋の端  
までたどり着いた。翌日、高幡橋の脇からオリエ  
ント時計の門まで運び、2日後、高1全員で学校  
まで持ってきた。後日、立派な日本人形を買って  
ローラーのお礼をした。

亀山……髭野さん、何年立高にいたんですか？

髭野……中学で3年、高校で3年の都合6年。

中野……6年も!! 終戦直後だとテニスをやるとい

うよりは土木作業がメインで、空いている時間に  
運動をする(笑)。ところで戦績が素晴らしいです  
けれども都大会はどのくらい規模で行われてい  
たのでしょうか？

髭野……140〜150チームではなかったか。

亀山……当時、立高が国体を独占したんだもの。

中野……まずはコートを作るところからスタートし、  
衝撃的でした。次は田坂さんから話を伺わせてく  
ださい。

勉強は浪人してからすればよい

田坂……30年代前半ね、僕らは昭和31年に入って34  
年に卒業で高校から始めた人が大半だった。断ト  
ツにうまい人はいなかった。その代りそこそこの  
連中が5チーム、10人位揃っていた。僕らの時は  
都立が強かった。特に西、大泉、小石川とか。私  
立も例えば日本学園や中大杉並。でも結局5チー  
ム揃っている点では立高が一番強かった。その時  
のことで覚えているのはテニスに明け暮れていた  
ということ。高校時代というのはあまり勉強した  
覚えもない(笑)。当時髭野さんだって若いから、